

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学専門演習Ⅲ		必修	2	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾 他	B305	atakiguchi	木曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>「福祉心理学専門演習Ⅰ・Ⅱ」で積み重ねてきた心理学を中心とした心と脳の働きに関する知識や技術を土台として、人間社会の現象に関する諸問題について客観的な視点を持ち、適切な解決法を考察し、多様な関係性に対応できることを目的とする。</p> <p><概要>課題学習を通じてキャリア心理学や人間社会の現象を理解するための調査・分析を行い、それに対するフィードバックで理解を深める。また、同時双方向型授業では調査・分析した結果を発表するための準備を行ったうえで、発表を実施し意見交換を通じて理解を深める。課題で提示されたテーマに沿って調べて発表、討論を行う。</p>				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、メールと同時双方向授業中、面接授業中に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学等の諸問題について調べ、論点を明らかにすることができる。			HSU(1)、心(1)、(2)	
②	心理学等の専門的知識を活かし、自ら発見した人間社会の問題点について援助の方法や解決方法を提案できる。			心(1)、(2)	
③	多様な関係性について理解し、実際の場面で活かすことができる。			心(1)、(2)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	キャリア心理学 (1) 自己分析について学ぶ。 フィードバック：課題返却と同時双方向授業内に実施。	印刷教材等での授業	資料を基に自己分析について学び、ワーク (文章完成法) を実施する。	6	
2	キャリア心理学 (2) 自己表現について学ぶ① フィードバック：課題返却と同時双方向授業内に実施。	印刷教材等での授業	資料に基づき自己分析を行い、自己表現レポートを作成する。	6	
3	キャリア心理学 (3) 自己表現について学ぶ② フィードバック：課題返却と同時双方向授業内に実施。	印刷教材等での授業	資料に基づき自己分析を行い、自己表現レポートを作成する。	6	
4	人間社会の理解 (1) 経済活動における企業と個人の関係性について学ぶ①調査。 フィードバック：課題返却と同時双方向授業内に実施。	印刷教材等での授業	資料に基づき企業や企業活動に関する調査を行い、レポートを作成する。	6	
5	人間社会の理解 (2) 経済活動に対する自己のかかわり方を検討する①調査。 フィードバック：課題返却と同時双方向授業内に実施。	印刷教材等での授業	資料に基づき経済活動に対する自己のかかわり方について考えレポートを作成する。	6	
6	人間社会の理解 (3) 経済活動における企業と個人の関係性②発表準備。 フィードバック：課題返却と同時双方向授業内に実施。	印刷教材等での授業	経済活動における企業と個人の関係性に関する調査結果を取りまとめ、ストーリーを構築しスライドを作成する。	6	
7	人間社会の理解 (4) 経済活動に対する自己のかかわり方の検討②発表準備。 フィードバック：課題返却と同時双方向授業内に実施。	印刷教材等での授業	経済活動に対する自己のかかわり方について検討した結果もとに、ストーリーを構築し、スライドを作成する。	6	
8	キャリア心理学 (5) 自己分析の結果について発表し討論を経て自己理解を深める。	同時双方向型授業	自己分析の結果を発表の準備を行う。発表・討論を踏まえ、内容について各自で整理する。	4	
9	キャリア心理学 (6) 自己の表現方法に関して発表し、討論を経て自己理解を深め自己表現方法の向上を目指す。	同時双方向型授業	自己表現に関する発表の準備を行う。発表・討論を踏まえ、内容について各自で整理する。	4	
10	人間社会の理解 (5) 経済活動における企業と個人の関係性③発表と討論。	同時双方向型授業	経済活動における企業と個人の関係性について調査した内容について発表の準備を行う。発表と討議を踏まえ、内容について各自で整理する。	5	

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

11	人間社会の理解 (6) 経済活動における企業と個人の関係性④討論結果を踏まえた最終発表。	同時双方向型授業	討論に基づき改良した発表の準備を行う。発表と討議を踏まえ、内容について各自で整理する。	4
12	人間社会の理解 (7) 経済活動に対する自己のかかわり方の検討③発表と討論。	同時双方向型授業	経済活動に対する自己のかかわり方について考えた内容について発表の準備を行う。発表と討議を踏まえ、内容について各自で整理する。	4
13	人間社会の理解 (8) 経済活動に対する自己のかかわり方の検討④討論に基づく発表内容の改良と発表リハーサル。	同時双方向型授業	討論に基づき改良した発表の準備を行う。発表と討議を踏まえ、内容について各自で整理する。	5
14	人間社会の理解 (9) 経済活動に対する自己のかかわり方の検討⑤最終発表。	同時双方向型授業	討論に基づき改良した発表の準備を行う。発表と討議を踏まえ、内容について各自で整理する。	4
15	総括	同時双方向型授業	これまでの内容を各自で整理する。	2
試	評価のポイントを参照			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	30	50	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	10	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	30	0	0	30
	コミュニケーション力	0	0	10	0	10	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10

評価のポイント

評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
	①	②		
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①	✓	授業の際に課されたレポート・ワーク等は、出題意図に即した内容が記述できているか、テーマに応じた思考・考察ができているか、読者に伝わる表現法が選ばれているかという観点で評価する。	同時双方向授業において総合講評を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①	✓	心理学の中からキャリア心理学に関する基本的な理論や知識を理解し、心理学等の専門的知識を活かし、自ら発見した人間社会の問題点について解決方法などを考えることができているか、また発表の内容、技術などについて評価する。	発表後に講評及び解説や補足の講義を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	討論の取り組みや授業へ意欲的に参加しているか、発表において他学生とのコミュニケーション力を発揮できているかについて評価する。	発表後に講評及び解説や補足の講義を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

備 考

学生は必ずいずれかの教員のクラスに所属すること。

担当教員：◎瀧口 綾、鈴木 真吾、宇賀 美奈子、高田 毅、柗木 隆寿

Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励します。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。